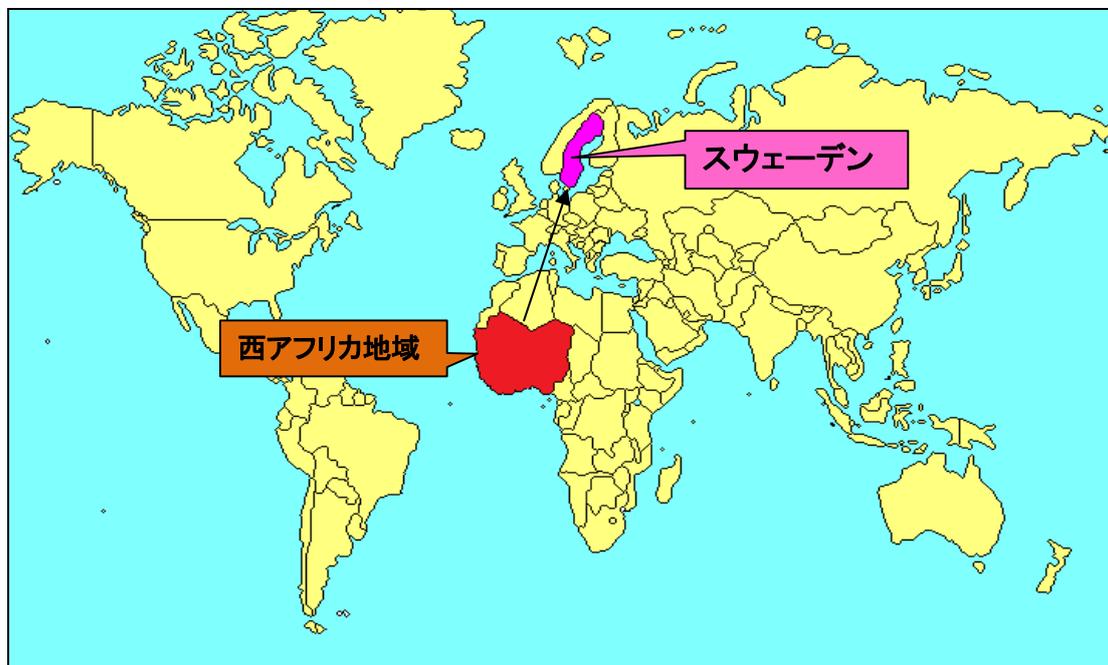


西アフリカからスウェーデンへのラッサ熱輸入例

2011年3月09日 ProMED 情報(The Local Swedens News)



スウェーデンで初のラッサ熱輸入患者が報告されました。患者は30代の女性で、人道支援活動のため西アフリカを訪問していたところ、現地（具体的な国は不明）で感染し診断されました。3月7日、治療のためスウェーデンに緊急空輸され、南東部の都市リンシェーピング（Linköping）の大学病院に入院し現在症状は安定しています。西アフリカでは毎年30万～50万人が感染します。症状は高熱や内出血ですが、患者の多くは完全に治癒します。感染者の1%が重症化します。

【ProMED 調整者】

感染数の約80%は無症状で、残りの患者が重症化し、肝、脾、腎といった臓器の障害を引き起こします。自然宿主の野ネズミの一種であるマストネズミで、尿や便を介してヒトへ感染します。潜伏期は6～21日です。